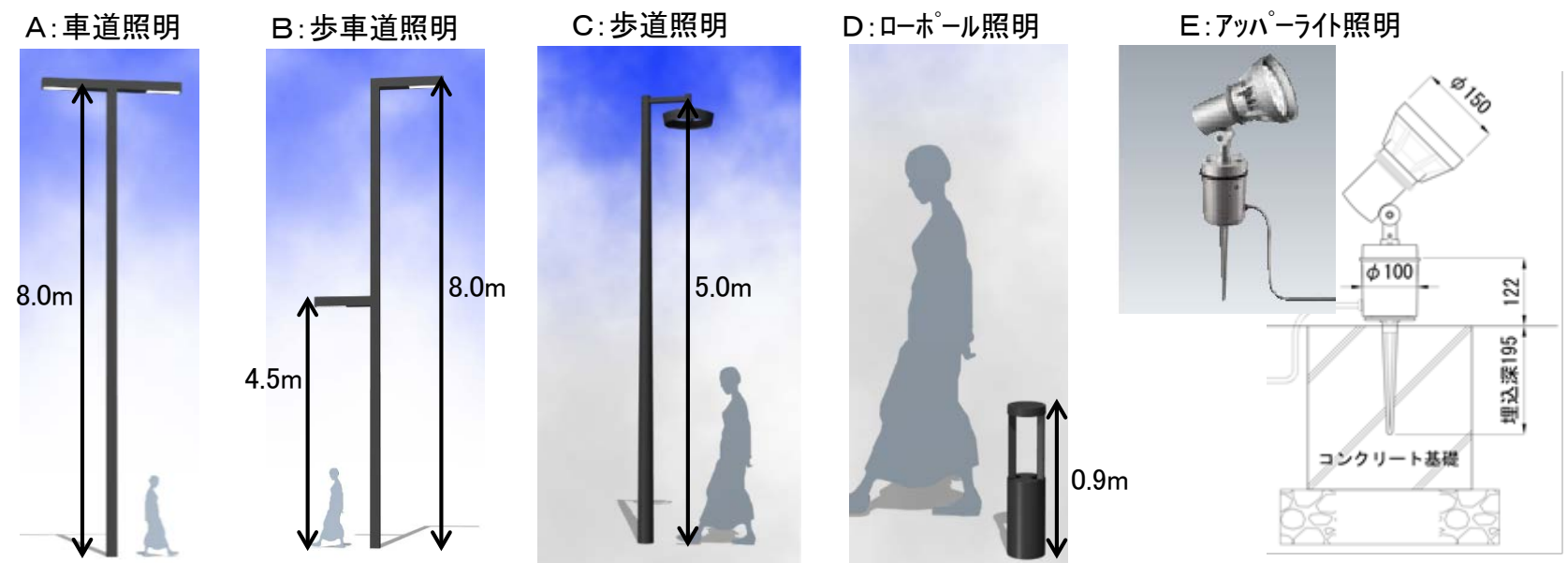


1. 照明・植栽整備計画

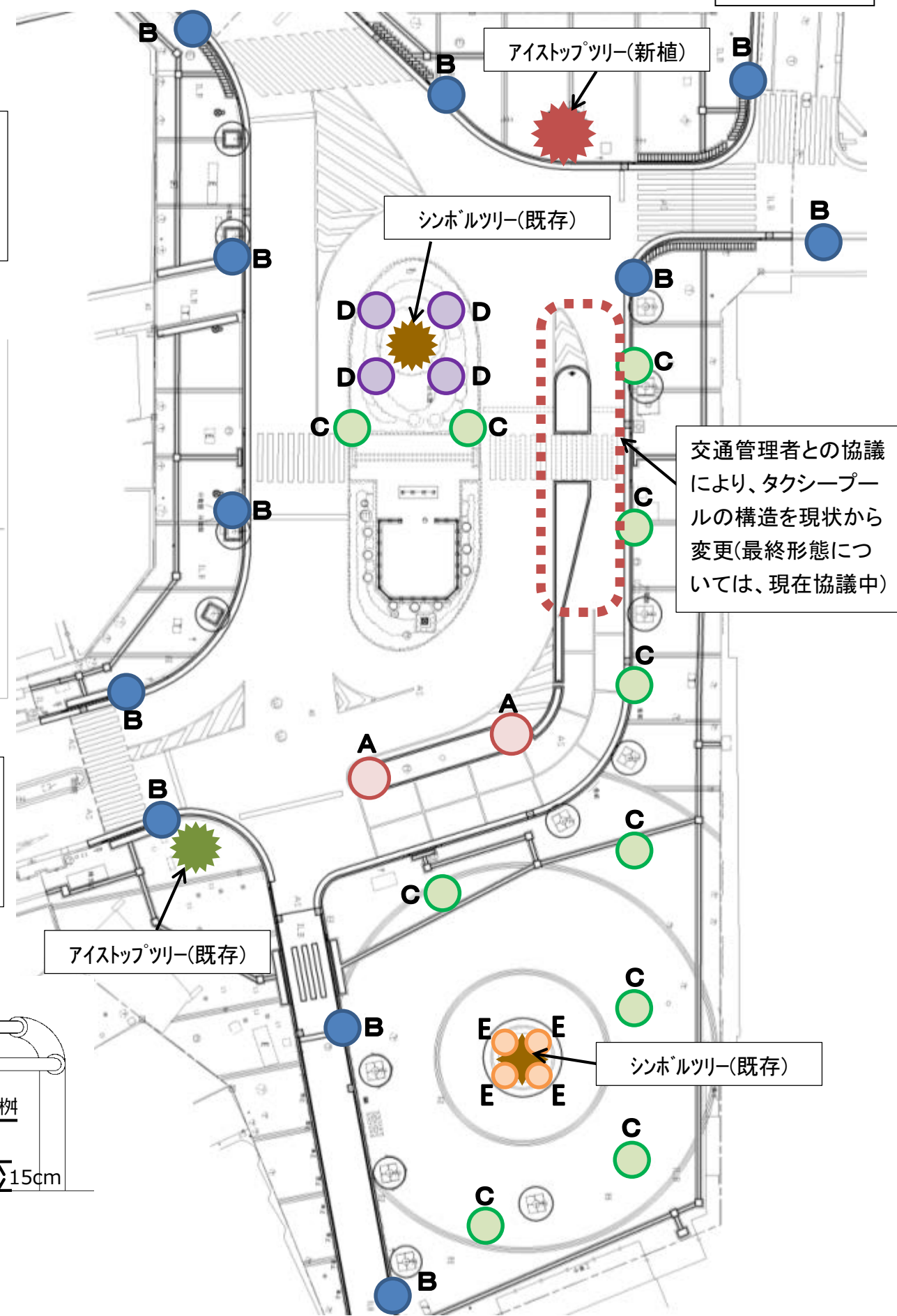
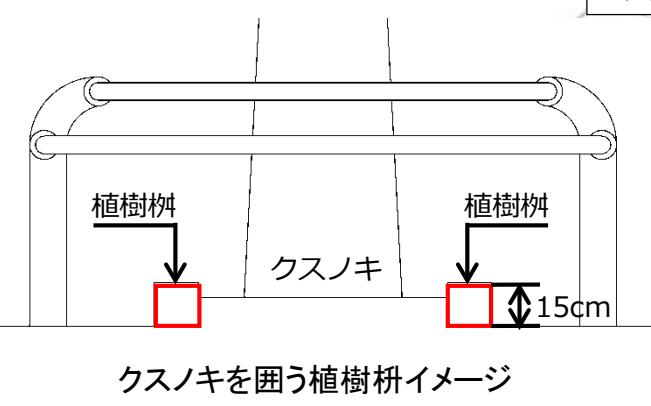
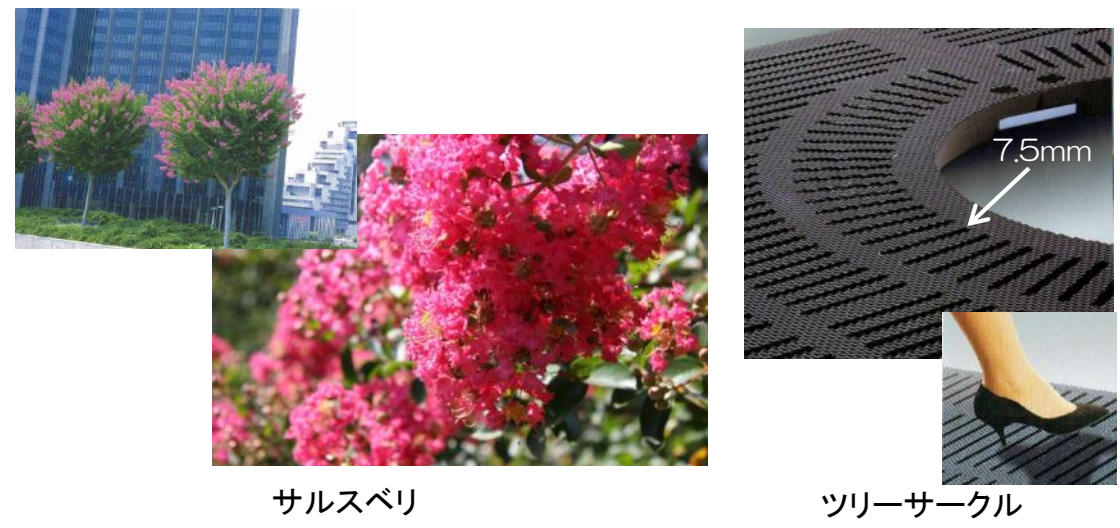
(1) 照明計画

- ・ 広場全体の平均照度を 25lx で計画し、すっきりとした広场景観とするため、歩車道両用街路灯などを使用し、街路灯数を極力少なくしつつも、歩行者の安全性への配慮及び景観性へ配慮するため、歩道照明を駅前の歩行者動線上に配置する。
- ・ 駅周辺のビル照明などと重複しないよう電球色で統一し、足元をしっかり照らす下向き配光の照明器具とする。
- ・ シンボルツリーであるクスノキ周りには景観を演出する照明として、アッパーライト及びローポール灯を配置する。



(2) 植栽計画

- ・ 広場北側に新植するアイストップツリーは、バスを降車した歩行者動線に支障しない位置に 1 本植える。
- ・ 新植するアイストップツリーは、葉が紅葉し、7~10月に花が咲き、季節感が感じられるサルスベリとする。
- ・ 広場南側のクスノキは、地表面に出ている根の保護及び土の流出防止のため、高さ 15 cm 程度の植樹柵で囲う。その他、広場内に点在する中木は、極力フラット化し、ツリーサークルを設置する。

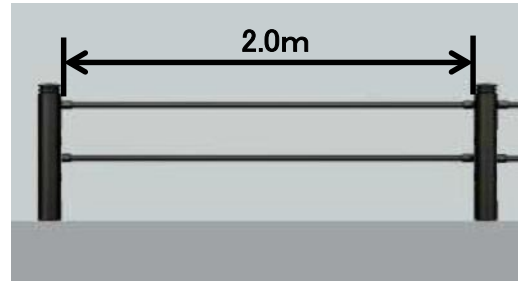


交通管理者との協議により、タクシープールの構造を現状から変更(最終形態については、現在協議中)

2. 交通安全施設、休憩施設など整備計画

(1) 交通安全施設・排水施設

- ・駅前ロータリーには横断防止柵、広場南側アーケード出入口には車止めを設置する。
- ・横断防止柵と車止めは同じデザインとし、モダンな街並みと調和するシンプルでグレード感のあるデザインとする。色彩はシックなダークグレー系統とし、配置間隔は2.0mとする。
- ・広場南側で使用する排水施設は歩行者の通行性、維持管理性、景観性に配慮し、細目スリットの円形側溝とする。



横断防止柵



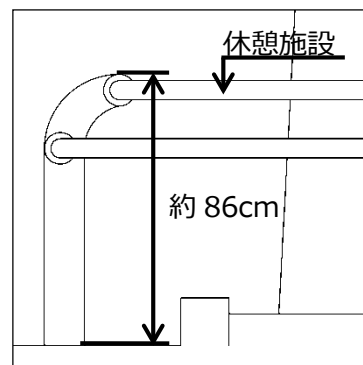
車止め



細目スリット側溝

(2) 休憩施設

- ・シンボルツリー及び広場南側の車道に面した中木の周りに待ち合わせ及び短時間休憩に対応した休憩施設としてサポーターベンチを設置する。
- ・サポーターベンチは、美観・耐久性・汚れにくさに配慮したステンレス製の明るいシルバー塗装のデザインとする。



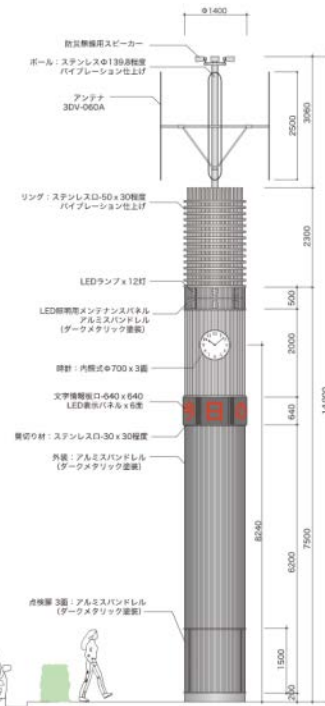
円形



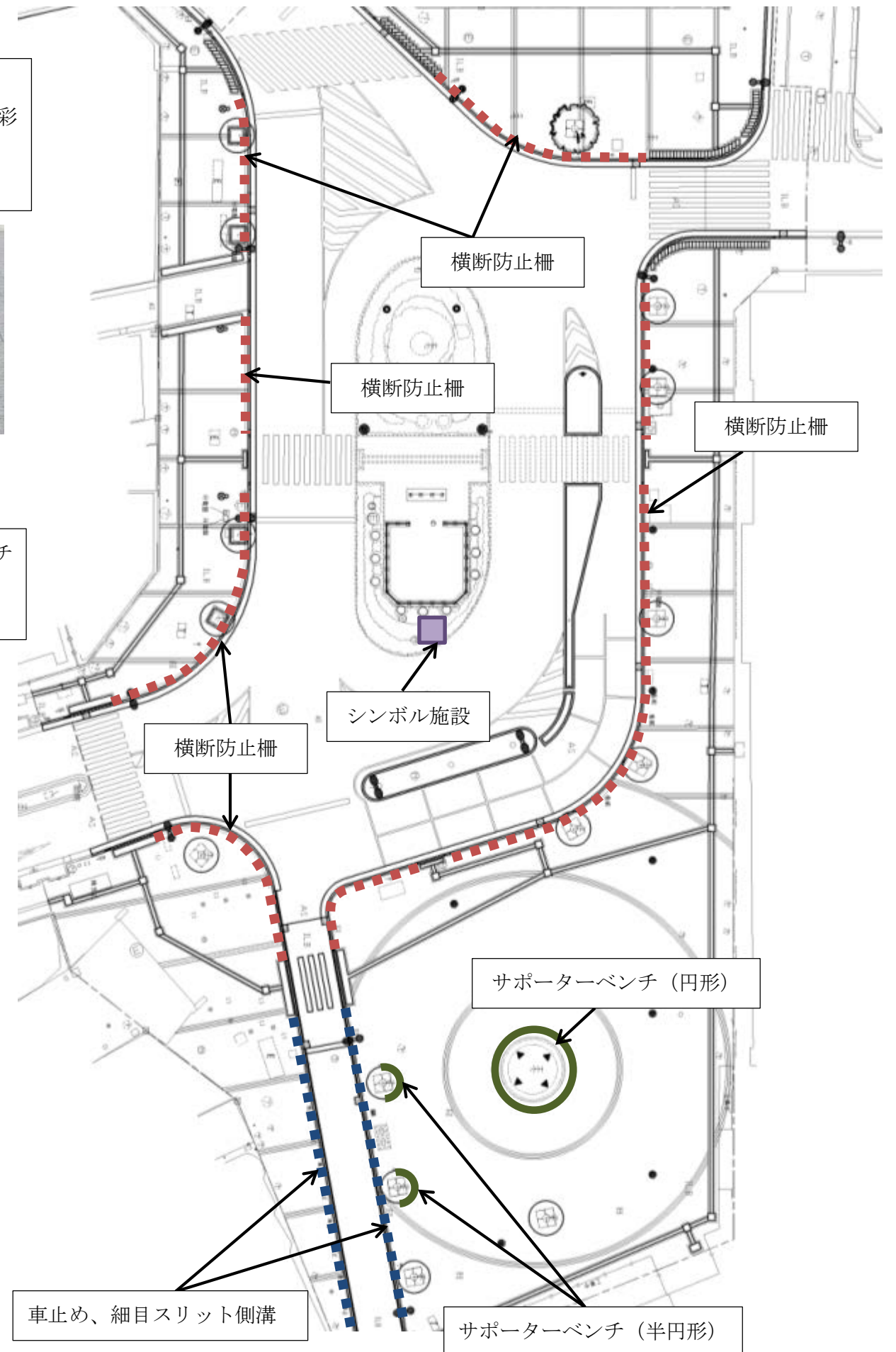
半円形

(3) シンボル施設

- ・インフォメーション及び時計表示が見えやすいよう下部はシックなデザインとし、上部は光を反射する繊細なデザインとし、夜間はライトアップ器具によって出迎えの明かりを演出する。



シンボル施設イメージ



3. 参考資料

